

## 常識 周囲によくよく注意を払おう。

ここ最近の携帯電話、携帯ゲーム機、携帯プレイヤーの普及により、会場内でも何らかの端末を覗き込んでいる、あるいはヘッドホンを着けている参加者を極めて多く目にするようになった。そのせいか、周囲への注意がおろそかになっていることが原因と思われるトラブルが増えているのだ。

歩きながら携帯やゲーム機を操作して人や物にぶつかる、周囲や店が混雑して座りたい人がたくさん居る状況でベンチや店内の席を長時間占拠して画面だけを見つめたまま、ヘッドフォン/イヤフォンを着けたままや電話で話しながら歩いていてスタッフの指示や注意を全く聞いていない、などなど、電話も音楽もゲームもそれぞれのものは悪くはないが、いかんせん使用中は周囲への注意力や状況への即応性が低下するのは避けられないだけに、基本的に会期中、会場内での使用は控えるのが望ましい。

特に会期中休憩や食事の場所は慢性的に不足しているのも、そういった場所で携帯端末に没頭してしまうことは他の参加者への迷惑行為なので絶対にやめてほしい。

また、会場内で音楽を聴く際にはヘッドホンをしていても周囲からの声がきちんと聞き取れる音量設定で。

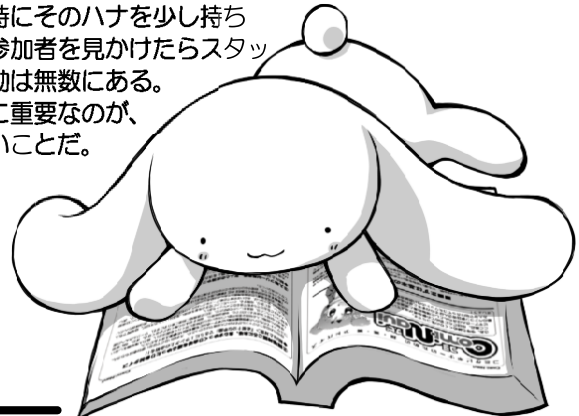
## 常識 コミケットの良き伝統、助け合い精神で行こう。

一般的な商業イベントと比較するとコミケットは参加者数に対して準備会スタッフの数がとても少ない。これは参加者自身がお客様意識を持たずに自分達で色々な問題を解決したり、助け合い、教えあいの構造が構築されているために他ならない（そもそもこのComi-Naviそのものが先達からビギナーさんへのノウハウ伝達である）。だから、今回からの初参加でもアナタはもうその輪の中の1人、恥ずかしいことでもおせっかいでもないのだから遠慮なく困っている、いそうな他の参加者に気付いたら声をかけ、自分にもできる手助けがないか聞いてみよう。

どんなに用意周到にしても思わぬアクシデントに遭遇することはあるし、参加者は千差万別、困ったり、弱ってしまう事も千差万別なので、他人には何という事もない行為がとても助かったりするのによくあることなのだ。【落し物を拾ったら速やかに届ける】【サークル参加者の台車やカートの荷崩れを見たら積み直しを手伝ったり、台車類が段差を越えようとしている時にそのハナを少し持ち上げてあげる】【気分を悪くしてしゃがみこんでいる参加者を見かけたらスタッフに連絡する】など、誰にでもできるちょっとした行動は無数にある。

また、手助けと同じくらい、事によってはそれ以上に重要なのが、もし不正や犯罪行為に気づいたら見て見ぬふりはしないことだ。

痴漢や盗撮、置き引き、あるいはサークル通行証の売買、ダミーサークルなど、気づいた、知ったら速やかに準備会に報告しよう。自助と自浄で、コミケットという世界最大のアマチュアイベントは存在し続けていられるのだ。



## まとめ ノウハウを正しく理解・活用して会場のストレスを低減しよう。

コミケットの開催時間をどう活用するのか、その中でどう過ごすのかは参加者1人ごとに違って来るだろう。しかし、一つ確かなことは人間誰しも余裕が無いと周囲が目に入らないということだ。

ならばみんなが余裕を持てばコミケットはもっと素敵な場所になるはずだ。その方法が、今回挙げたようなノウハウやセオリーを1人でも多くの参加者が知ることなのだ。

紙袋の紐が食い込んで痛い、服が汗でぐしょぐしょ、傘の先でつつかれて怪我をしそうになった。周囲に目もくれず突っ込んできた人に突き飛ばされた……誰もがコミケットの会場内で遭う事だが、そういう好ましくない状況はストレスを生み、そういった1人単位のストレスが積み積み積もってコミケットそのものの空気をぎすぎすしたものにしてしまう。この負のスパイラルを断ち切ることが、コミケットを快適な場所にするということに他ならない。

そして、それは参加者が自分の参加スタイルにおいて、ほんの少し『楽』になるというそれだけのことで結構実現できてしまうのだ。様々な苦しい、不快な状況や状態を、『コミケットだから』というお祭り気分や必死さという精神的な何かで無理やり乗り越えるのではなく、正面から正攻法で1つずつ解消していくと、不思議なことに心身共に余裕ができてくるものなのだ。

『楽に参加するとコミケットそのものがもっと素敵な場所になる』これこそが現在の最強参加テクニックなのだ。過去から蓄積された参加ノウハウを正しく活用し、楽に快適に、今回の夏コミに参加してほしい。